

平成27年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成26年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社
 コード番号 2712 URL <http://www.starbucks.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役最高経営責任者(CEO) (氏名) 関根 純
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 戦略・ファイナンス・サプライチェーン担当 (氏名) 北川 徹
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-5745-5577

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	34,927	8.4	4,738	8.1	4,796	9.5	2,931	13.5
26年3月期第1四半期	32,230	14.1	4,384	58.0	4,379	55.1	2,582	71.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	20.33	20.30
26年3月期第1四半期	17.94	17.89

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	72,746	47,420	65.2	328.81
26年3月期	71,537	46,777	65.4	324.50

(参考)自己資本 27年3月期第1四半期 47,420百万円 26年3月期 46,777百万円

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、1株当たり純資産額は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期		0.00		15.00	15.00
27年3月期					
27年3月期(予想)		0.00		15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期の期末配当15円00銭の内訳は、普通配当10円00銭及び1,000店舗記念配当5円00銭であります。

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	67,500	6.0	7,000	5.1	7,000	5.7	4,100	5.4	28.43
通期	135,000	7.4	11,550	5.5	11,600	5.5	6,750	12.5	46.80

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、添付資料3ページ'2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	144,218,900 株	26年3月期	144,151,600 株
27年3月期1Q		26年3月期	
27年3月期1Q	144,186,470 株	26年3月期1Q	144,001,485 株

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、株式数は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点におきまして、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・平成26年5月9日に公表いたしました業績予想は、本資料において修正しておりません。

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を内包しております。したがって、個人消費の動向や経済環境などの諸要因の変化により、実際の業績等は記載内容と異なる可能性があることを予めご承知おきください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
4. 補足情報	7
(1) 生産、受注及び販売の状況	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動が危惧されたものの、総じて昨年度からの緩やかな景気回復基調が持続いたしました。

しかし、当該影響により、足元の個人消費は一部で弱い動きも見られるなど、先行きは依然不透明な状況で推移しております。

このような環境の下、当社は次のような事業展開を行いました。

当社の強み及び特長であります「最高のコーヒー」「くつろげる空間」「パートナーによる魅力的なサービス」を生かした「サードプレイス(お客様の職場と家庭との間にあって、いつでも安心してくつろげる第三の場所)」の提供を一層強化し、ブランドの差別化に努めました。

商品につきましては、フラペチーノ®の販売が大きく伸張し、売上を牽引いたしました。これは、日本で開発された「フレッシュ バナナ & チョコレート クリーム フラペチーノ®」や「マープル キャラメル コーヒー ジェリー フラペチーノ®」などの期間限定フラペチーノ®が大変ご好評いただいたこと等によるものであります。

また、ご自宅等でのアイスコーヒーの楽しみ方のご提案として「グラスドリップコーヒーメーカー」を展開しご好評いただきました。

店舗展開につきましては、出店強化を続けるドライブスルー店舗を中心として、13店舗の新規出店(うちライセンス1店舗)、1店舗の退店(直営店)を行い、当第1四半期累計期間末における店舗数は1,046店舗(うちライセンス49店舗)となりました。

また、既存店舗につきましても、環境の変化に応じた空間作りに注力し、活性化や収益性の向上につながるリモデル投資等を継続的に進めました。

以上の活動の結果、売上高は34,927百万円(前年同期比8.4%増)となりました。既存店売上高が前年同期比で2.9%増加したことに加え、継続的な新規出店や「Starbucks Online Store」及び「Starbucks e-Gift」等の前事業年度からの新たなサービスの展開などにより全体でも増収となりました。

売上総利益は26,133百万円(同8.3%増)と、前年同四半期累計期間に比べて2,008百万円の増益となり、売上総利益率は74.8%(同0.1ポイント減)となりました。これは売上原価に関しまして、原材料価格の下落による原価率の低下があったものの、為替が円安に推移したこと等によるものであります。

営業利益は4,738百万円(同8.1%増)と、前年同四半期累計期間に比べて354百万円の増益となりました。これは売上総利益の増加があったものの、主に店舗の改装等の投資により、販売費及び一般管理費率が61.3%(同0.1ポイント増)となったことによるものであります。

経常利益は4,796百万円(同9.5%増)と、前年同四半期累計期間に比べて416百万円の増益、四半期純利益は2,931百万円(同13.5%増)と、前年同四半期累計期間に比べて348百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて1,209百万円増加して72,746百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べて185百万円増加いたしました。

固定資産は、前事業年度末に比べて1,023百万円増加いたしました。これは、主に新規出店及び既存店の改装のための投資により有形固定資産が496百万円、スターバックス カードの前受金残高に対応する金銭信託が400百万円増加したことによるものであります。

流動負債及び固定負債は、前事業年度末に比べて565百万円増加いたしました。これは、主に未払金や法人税等の支払いに伴う減少があったものの、未払消費税等が726百万円、スターバックス カードの預り金等の前受金が609百万円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べて50百万円増加し、20,682百万円となりました。

営業活動による資金の増加は、4,553百万円(前年同期差904百万円増)となりました。これは、主に法人税等の支払いが917百万円増加したものの、未払消費税等を始めとしたその他が981百万円、及び税引前四半期純利益が356百万円増加したことなどによるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、2,485百万円(同139百万円増)とほぼ前年同期並みとなりました。

財務活動の結果使用した資金は、2,017百万円(同994百万円増)となりました。これは、主に期末配当金が1株につき8円(前事業年度におきまして1株につき100株の割合で株式分割を行ったため、株式分割後の金額を記載しております)から15円へと7円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年5月9日発表の業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用)

税金費用につきましては、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,131	17,682
売掛金	4,329	4,078
有価証券	2,500	3,000
商品及び製品	754	777
原材料及び貯蔵品	1,503	1,944
その他	4,611	4,532
貸倒引当金	30	29
流動資産合計	31,799	31,985
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	10,307	10,791
その他(純額)	6,395	6,408
有形固定資産合計	16,702	17,199
無形固定資産		
	1,272	1,302
投資その他の資産		
差入保証金	17,362	17,429
その他	4,488	4,919
貸倒引当金	89	89
投資その他の資産合計	21,762	22,259
固定資産合計	39,737	40,761
資産合計	71,537	72,746
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,819	3,053
未払法人税等	3,314	1,900
賞与引当金	-	200
その他	13,782	15,187
流動負債合計	19,917	20,342
固定負債		
役員退職慰労引当金	26	26
資産除去債務	4,651	4,755
その他	166	202
固定負債合計	4,843	4,984
負債合計	24,760	25,326
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,548	8,558
資本剰余金	11,123	11,133
利益剰余金	26,876	27,646
株主資本合計	46,548	47,337
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	228	82
評価・換算差額等合計	228	82
純資産合計	46,777	47,420
負債純資産合計	71,537	72,746

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	32,230	34,927
売上原価	8,105	8,794
売上総利益	24,125	26,133
販売費及び一般管理費	19,740	21,394
営業利益	4,384	4,738
営業外収益		
受取利息	3	6
為替差益	-	25
その他	18	31
営業外収益合計	21	63
営業外費用		
支払利息	0	-
支払補償費	2	4
為替差損	14	-
その他	8	1
営業外費用合計	26	5
経常利益	4,379	4,796
特別利益		
退移店補償金	93	-
その他	0	-
特別利益合計	94	-
特別損失		
減損損失	41	27
固定資産除却損	31	17
店舗閉鎖損失	40	34
特別損失合計	113	79
税引前四半期純利益	4,360	4,717
法人税等	1,777	1,785
四半期純利益	2,582	2,931

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	4,360	4,717
減価償却費	1,055	1,165
減損損失	41	27
引当金の増減額(は減少)	236	200
受取利息及び受取配当金	3	6
固定資産除却損	69	45
売上債権の増減額(は増加)	338	251
たな卸資産の増減額(は増加)	99	464
仕入債務の増減額(は減少)	87	233
その他	893	1,875
小計	6,127	8,047
利息及び配当金の受取額	3	5
発行保証金の金銭信託による増減額(は増加)	300	400
法人税等の支払額	2,181	3,098
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,649	4,553
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	2,591	2,160
無形固定資産の取得による支出	132	187
資産除去債務の履行による支出	33	17
差入保証金の差入による支出	165	264
差入保証金の回収による収入	578	141
その他	0	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,346	2,485
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	25	19
配当金の支払額	1,048	2,037
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,023	2,017
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	280	50
現金及び現金同等物の期首残高	17,112	20,631
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,392	20,682

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

(販売実績)

当第1四半期累計期間の販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	当第1四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)		
	売上高(百万円)	売上構成比(%)	前事業年度比(%)
店舗販売			
ビバレッジ	27,104	77.5	109.4
フード	4,855	13.9	105.7
コーヒー豆	1,140	3.3	107.2
コーヒー器具等	929	2.7	84.9
店舗販売計	34,029	97.4	108.0
その他	897	2.6	125.9
合計	34,927	100.0	108.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。